

「県立宮崎病院再整備の検討状況について」

県立宮崎病院再整備の検討状況について

I これまでの検討経緯等

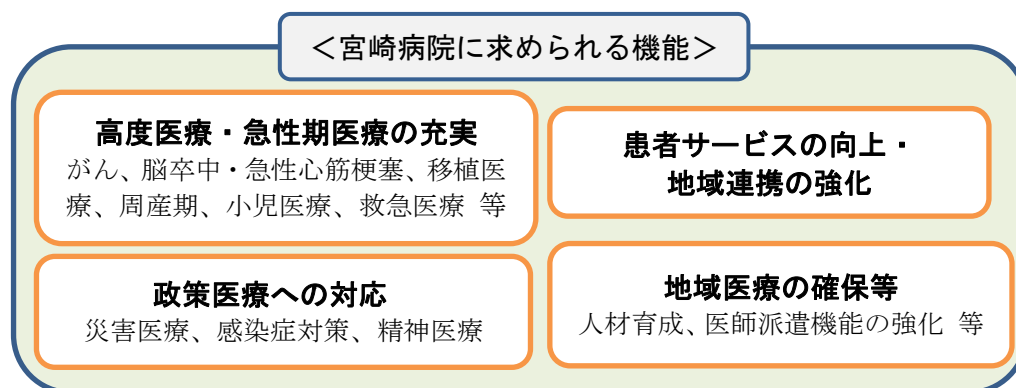
県立宮崎病院は、昭和58年の改築以来31年が経過し、老朽化等が進んでいることから、全県レベルの中核病院として求められる診療機能等を含め、今後の整備のあり方について検討を進めてきた。

年 度	主な検討内容
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> 再整備の検討開始 既存施設の改修案から全面改築案まで4つの整備案を検討
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> 現地で再整備を行うこととし、26年度中に「全面改築案」及び「診療棟改築及び病棟改修案」について検討、基本構想を策定することとする。
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 本庁及び病院スタッフを委員とした「県立宮崎病院再整備基本構想策定検討委員会」を組織し、具体的な整備内容について検討

II 検討の概要

県立宮崎病院再整備基本構想の策定に係る検討状況は、次のとおりである。

1 宮崎病院に求められる役割と機能拡充



(1) 高度・急性期医療の充実

- 総合診療基盤を活かしたがん医療の充実
- 高齢化に伴い増加が予想される脳卒中・急性心筋梗塞への対応
- 最後の砦としての救急医療の充実
- 県内に不足する小児・周産期医療の充実 等

＜機能拡充策＞

- ICU増床(6床→14床程度)
- 手術室増室(7室→12室程度)
- 化学療法室増床(15床→20床程度)
- MR Iの増設(1台→2台)
- 救急外来諸室の拡充(感染症患者に対応した初療室の整備等)
- 救命救急センター外来と病棟を一体的に配置
- 分娩室の増室(3室→6室程度)
- 新生児科の新設…小児科から新生児部門を独立 等

(2) 政策医療への対応

- ・基幹災害拠点病院としての災害医療への対応
- ・第一種感染症指定医療機関の指定を受けるなど感染症医療への対応
- ・民間の医療機関等では対応が難しい高度な精神医療の提供 等

<機能拡充策>

- ・専用ヘリポートの新設
- ・耐震性能の強化(耐震構造→免震構造)
- ・浸水対策(建物敷地のかさ上げ等)
- ・第一種感染症に対応した病床の整備 等

(3) 患者サービスの向上と地域連携の強化

- ・プライバシーの確保・アメニティの充実等による快適な療養環境の提供
- ・地域の医療機関との連携強化による、安心して地域で医療を受けられる体制の構築 等

<機能拡充策>

- ・診察室の個室化
- ・個室病床の増床、病室のスペース拡充
- ・相談室や売店等の充実
- ・入退院支援、医療連携、各種相談にワンストップで対応できる「(仮称) 医療連携支援センター」の整備 等

(4) 地域医療の確保

- ・院内医療スタッフ、研修医、県内医療スタッフ及び医療系学生等に対する研修環境の提供
- ・研修医等の確保・育成による、医師不足が深刻な公立病院等への医師派遣 等

<機能拡充策>

- ・救命救急科、新たに設置する総合診療科、その他の専門診療科が連携した研修の実施
- ・研修施設等の環境整備 等

【再整備後の病床規模】

再整備後の病床数は次のとおり540床程度とする。

[現在]		[整備後]	
病棟名/科名	病床数(床)	病棟名/科名	病床数(床)
特殊病床	65 (41)	特殊病床	49
救命救急センター	— (—)	救命救急センター	6
救急病棟	32 (23)	救急病棟	20
I C U	9 (6)	I C U (一般患者用)	8
N I C U / G C U	24 (12)	N I C U / G C U	15
その他一般病床	540 (446)	その他一般病床	443
感染症病床(第二種)	6 (6)	感染症病床(第一種・第二種)	8
精神医療センター	42 (42)	精神医療センター	40
合 計	653 (535)	合 計	540

※ () は稼働病床数

2 整備案の概要

(1) 全面改築案

整備案	全面改築案																																																							
① 整備概要	<ul style="list-style-type: none"> 現在の敷地北側に全面改築を行う。 全面改築後、既存の診療棟及び病棟は解体し、駐車場として利用する。 精神医療センターは研修施設等病院機能以外の用途に転用する。 	<p style="text-align: center;">【整備イメージ】</p>																																																						
② 建築概要	<p>a) 整備面積(延べ床) 約 48,000 m² (うち新築 44,600 m²、改修 3,400 m²)</p> <p>b) 施設全体の面積 約 50,300 m² (うち新築 44,600 m²、その他 5,700 m²)</p>																																																							
③ 事業期間	<p>約 7 年</p> <p> □ ...準備期間 ⇒ ...実施期間 </p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>33年度</th> <th>34年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本設計</td> <td colspan="2">⇒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td></td> <td colspan="2">⇒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="5">⇒</td> <td></td> </tr> <tr> <td>竣工・移転準備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>☆開院</td> <td></td> </tr> <tr> <td>解体・既存建物改修・外構工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">⇒</td> </tr> </tbody> </table>		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	基本設計	⇒								実施設計		⇒							建築工事			⇒						竣工・移転準備							☆開院		解体・既存建物改修・外構工事							⇒	
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度																																																
基本設計	⇒																																																							
実施設計		⇒																																																						
建築工事			⇒																																																					
竣工・移転準備							☆開院																																																	
解体・既存建物改修・外構工事							⇒																																																	
④ 事業費	<p>約 185.2 億円 (設計 6.8 億円、建築工事 164.8 億円、改修工事 4.3 億円、解体等 9.3 億円)</p>																																																							
⑤ 将来推計	<p>開院 6 年後に黒字を見込む。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>開院</th> <th>1年後</th> <th>5年後</th> <th>6年後</th> <th>10年後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="6">黒字達成 (単位:百万円)</td> </tr> <tr> <td></td> <th>33年度</th> <th>34年度</th> <th>38年度</th> <th>39年度</th> <th>43年度</th> </tr> <tr> <td>病院事業収益</td> <td>13,953</td> <td>14,924</td> <td>15,596</td> <td>15,881</td> <td>15,745</td> </tr> <tr> <td> うち診療収入(入院・外来)</td> <td>12,189</td> <td>13,073</td> <td>13,490</td> <td>13,551</td> <td>13,699</td> </tr> <tr> <td>病院事業費用</td> <td>15,551</td> <td>15,318</td> <td>15,842</td> <td>15,791</td> <td>15,430</td> </tr> <tr> <td>収支差</td> <td>△ 1,598</td> <td>△ 394</td> <td>△ 246</td> <td>90</td> <td>315</td> </tr> </tbody> </table>			開院	1年後	5年後	6年後	10年後	黒字達成 (単位:百万円)							33年度	34年度	38年度	39年度	43年度	病院事業収益	13,953	14,924	15,596	15,881	15,745	うち診療収入(入院・外来)	12,189	13,073	13,490	13,551	13,699	病院事業費用	15,551	15,318	15,842	15,791	15,430	収支差	△ 1,598	△ 394	△ 246	90	315												
	開院	1年後	5年後	6年後	10年後																																																			
黒字達成 (単位:百万円)																																																								
	33年度	34年度	38年度	39年度	43年度																																																			
病院事業収益	13,953	14,924	15,596	15,881	15,745																																																			
うち診療収入(入院・外来)	12,189	13,073	13,490	13,551	13,699																																																			
病院事業費用	15,551	15,318	15,842	15,791	15,430																																																			
収支差	△ 1,598	△ 394	△ 246	90	315																																																			
⑥ メリット ・ デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 全ての施設面の課題について改善が図られる。 事業費は診療棟改築及び病棟改修案より高額である。 																																																							

(2) 診療棟改築及び病棟改修案

整備案	診療棟改築及び病棟改修案																																																																									
① 整備概要	<p>・現在の敷地北側に急性期・防災関連施設（手術室、集中治療室、救命救急センター、ヘリポート等）及び外来や一部病棟を加えた新棟を整備し、その後、既存施設について必要な改修を行う。</p>	<p>【整備イメージ】</p>																																																																								
② 建築概要	<p>a) 整備面積(延べ床) 約 49,500 m² (うち新築 30,500 m²、改修 19,000 m²)</p> <p>b) 施設全体の面積 約 61,300 m² (うち新築 30,500 m²、その他 30,800 m²)</p>																																																																									
③ 事業期間	<p>約 7.5 年</p> <p>□...準備期間 ⇒...実施期間</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>33年度</th> <th>34年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本設計</td> <td>□</td> <td>⇒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td></td> <td></td> <td>□</td> <td>⇒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>□</td> <td>⇒</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新棟竣工・外来移転</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>□</td> <td>★</td> <td></td> </tr> <tr> <td>解体・改修・外構等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>□</td> <td>⇒</td> </tr> <tr> <td>竣工・移転</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>□</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>☆</td> </tr> </tbody> </table>		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	基本設計	□	⇒							実施設計			□	⇒					建築工事				□	⇒				新棟竣工・外来移転						□	★		解体・改修・外構等							□	⇒	竣工・移転								□									☆
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度																																																																		
基本設計	□	⇒																																																																								
実施設計			□	⇒																																																																						
建築工事				□	⇒																																																																					
新棟竣工・外来移転						□	★																																																																			
解体・改修・外構等							□	⇒																																																																		
竣工・移転								□																																																																		
								☆																																																																		
④ 事業費	<p>約 143.7 億円 (設計 5.4 億円、建築工事 111.0 億円、改修工事 23.8 億円、解体等 3.5 億円)</p>																																																																									
⑤ 将来推計	<p>開院 7 年後に黒字を見込む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開院</th> <th>1年後</th> <th>5年後</th> <th>7年後</th> <th>10年後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">黒字達成 (単位:百万円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>34年度</td> <td>35年度</td> <td>39年度</td> <td>41年度</td> <td>44年度</td> </tr> <tr> <td>病院事業収益</td> <td>14,575</td> <td>15,088</td> <td>15,758</td> <td>15,758</td> <td>15,655</td> </tr> <tr> <td>うち診療収入(入院・外来)</td> <td>12,765</td> <td>13,198</td> <td>13,551</td> <td>13,657</td> <td>13,685</td> </tr> <tr> <td>病院事業費用</td> <td>15,354</td> <td>15,658</td> <td>15,948</td> <td>15,697</td> <td>15,517</td> </tr> <tr> <td>収支差</td> <td>△ 779</td> <td>△ 570</td> <td>△ 190</td> <td>61</td> <td>138</td> </tr> </tbody> </table>			開院	1年後	5年後	7年後	10年後					黒字達成 (単位:百万円)			34年度	35年度	39年度	41年度	44年度	病院事業収益	14,575	15,088	15,758	15,758	15,655	うち診療収入(入院・外来)	12,765	13,198	13,551	13,657	13,685	病院事業費用	15,354	15,658	15,948	15,697	15,517	収支差	△ 779	△ 570	△ 190	61	138																														
	開院	1年後	5年後	7年後	10年後																																																																					
				黒字達成 (単位:百万円)																																																																						
	34年度	35年度	39年度	41年度	44年度																																																																					
病院事業収益	14,575	15,088	15,758	15,758	15,655																																																																					
うち診療収入(入院・外来)	12,765	13,198	13,551	13,657	13,685																																																																					
病院事業費用	15,354	15,658	15,948	15,697	15,517																																																																					
収支差	△ 779	△ 570	△ 190	61	138																																																																					
⑥ メリット ・ デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・診療機能の課題はほぼ改善が図られる。 ・既存施設の有効利用が図られる。 ・既存施設の耐震性は従前のまま（新耐震基準は満たす）である。 ・事業費は全面改築案より低額である。 																																																																									

(3) 整備案の評価

各整備案について、現状の課題や求められる機能等を踏まえ評価の視点を設定し、次のとおり評価を行った。

① 早期の整備

- ・ 施設の老朽化・狭隘化や災害への対策のため、早期整備が可能であるか。
- ⇒ 全面改築案では開院が7年目であり、診療棟改築及び病棟改修案では診療棟の共用開始が6年目、病棟改修の完了が8年目であり、大きな違いは無い。

② 基幹災害拠点病院としての災害対策の強化

- ・ 巨大地震等の被災後に診療を継続することができるか。
- ⇒ 全面改築案では大幅な改善が図られるが、診療棟改築及び病棟改修案では病棟の耐震性能の向上はできないため、診療の継続に懸念が残る。

③ 療養環境の確保、効率的な医療提供

- ・ 患者に安全で快適な医療を提供するとともに、医療スタッフの負担軽減が図られ、効率的な医療を提供することができるか。
- ⇒ 全面改築案では安全かつ機能的な部門配置が可能となるが、診療棟改築及び病棟改修案では病院機能が分散するため、患者・スタッフの動線が一部長くなる。

④ 経営面での効率化

- ・ 事業費は経営を圧迫するものではないか。また、再整備後の維持管理費の低減が図られるか。
- ⇒ 事業費については、全面改築案が診療棟改築及び病棟改修案より高額であるものの、将来推計では、開院後6年目には黒字を計上できる見通しである。また、維持管理費の低減については、全面改築案では病床数に応じた施設規模とすることが可能であるが、診療棟改築及び病棟改修案では既存病棟を使用するため、施設規模が大きく、課題が残る。

⑤ 整備期間中の療養環境

- ・ 工事に伴う騒音や振動など、療養環境の悪化に対する患者への負担軽減が図られるか。
- ⇒ 診療棟改築及び病棟改修案では、病棟改修の際に相当の配慮が必要であり、全面改築案に比べ患者への影響が大きい。

⑥ 長期的な視点に立った整備計画

- ・ 現地での継続的な建て替えが行いやすい計画であるか。
- ⇒ 全面改築案では、敷地内に次回整備のための事業用地をあらかじめ確保することができるが、診療棟改築及び病棟改修案では、施設が分散しており困難である。

3 今後の予定

現在、上記の宮崎病院に求められる機能や整備案の評価等をベースに基本構想案の策定作業を行っているところであり、今後、県立病院事業評価委員会からの意見等も加味して、2月議会に最終的な基本構想案を提示したい。

その後、パブリックコメントでの意見等も踏まえ、本年度中に基本構想を策定する予定である。